

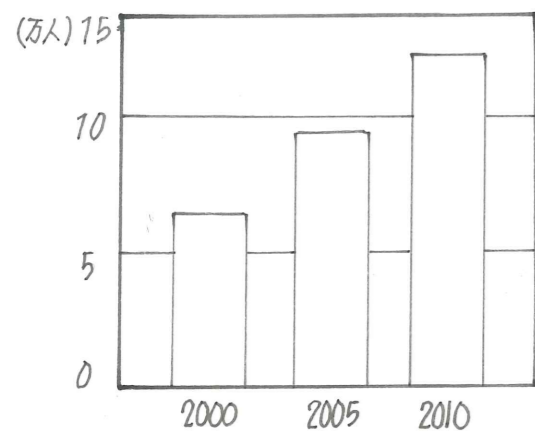
# フェースフルな図書館

安心安全のために、居場所をつくる。  
この建築は、まちの居場所を生む。  
まちの居場所は、自分ひとりで占有するパーソナルな場所ではなく、誰もがそこに迎え入れられる、誰にとってもそこに「わたし」の場所が用意されている場所。

一人ひとりが何らかのかたちで主体的に参加することで維持されていく。うん、まちの居場所を日常で生むことで非日常においても、居場所が確保される。

それは、居場所を生む図書館だ。この図書館は食事をする場所として、学びの場所として、交流する場所として、人々の心の支えとなる。人々の心の支えとなることで日常時も非日常時も常に人々の居場所としてあり続ける。居場所があるということは人々の生活に、安心、安全をもたらす活気あふれるまちになってほしい。

社会背景：シングルマザー数の推移



図書館の日常と非日常

